

海星 1月

薩摩川内市立海星中学校
平成29年1月27日発行

新年にあたり

校長 有島愛郎

保護者の皆様、地域の皆様、「新年 明けましておめでとうございます。」ご家族そろって輝く平成29年を迎えられたことと思います。元日は、近年まれに見る穏やかな天気です。初日の出が拝められた幸先のよいスタートとなりました。

ところで、3学期も早一月が過ぎようとしています。今学期の生徒はこれまでと違うぞという感触を得られています。それは、始業式での学年代表3名の3学期への抱負とその後の行動などからです。

1年生の戸田奈々美さんは、「2学期はクラスメイトに手伝ってもらったことが多く迷惑をかけてしまったので、自分で出来ることは自分でやるように頑張りたい。いや頑張りたいではなく自分のことは自分です。そして、勉強もする。3学期はこの2つのことを有言実行する。」と、強い覚悟をもって臨む姿勢を示しました。



その言葉どおり自分でやるべきことは自分でやっていますし、学習にも積極的に取り組んでいます。また、2年生の上江悠太郎君は「冬休みに勉強を頑張ろうと思いましたが、解らないところが多く終わることができなかつた。だから3学期は勉強を頑張りたい」と語りました。先日、県学習定着度調査が行われ、時間いっぱい何度も見直す姿がありました。その姿勢が成果として表れています。また、3年生の木場瑛心君は「冬休みは塾で勉強に励んできた。この勢いそのまま勉強を続け、希望校へ合格したい。」と話しました。その言葉通り授業に一生懸命に取り組むとともに、先日は私と入試の面接練習をしました。いくつか気をつける点を伝えたところ、それをメモ帳に書いていました。私は多くの生徒と面接練習をしてきましたが、このようにメモする生徒ははじめてでした。壇上で宣言したとおり、有言実行する姿に感心しました。

加えて登校する状況も変わりつつあると感じています。私は6:40分頃家を出るのですが、今年度は、夏場の明るい時間帯であっても顔を会わす生徒はほとんどいなかったのです。しかし、最近では1年生の石野さんや戸田さんが仲良く登校する姿を見かけます。また、2学期半ばまで自家用車での通学が目につきましたが、3学期は雨天時以外はほとんど見なくなりました。3名の発表者をはじめとする全校生徒の頑張ろうとする姿が見られることは嬉しいことです。3学期は、「終わりよければすべてよし」という諺のとおり、生徒一人一人にとっても学校全体にとっても充実した学期となるのではないかと期待しています。

私をはじめ職員一同、協力・協働の精神で、生徒の成長に努めてまいります。保護者の皆様・地域の皆様のご理解とご協力それぞれにご支援の程よろしくお願いたします。

入学説明会

中学1年生が、これから入学する長浜・鹿島小の5・6年生を対象に海星中の紹介をしました。生徒は学習面や生活面をはじめ、学校行事や部活動などを写真やクイズを加えながら工夫を凝らし説明しました。その後、小学生からの質問を受けました。中学校に対する関心の高さから多くの質問があり、その一つ一つを丁寧に答えていました。



学校紹介の後、5年生は池端教諭による音楽の授業を体験し、6年生とその保護者は中学校の概要や入学前に準備するもの等の説明を聞きました。生徒、職員一同は6年生の入学を楽しみにしています。

～小学生の感想(日記より)～

- 海星中学校の様子をたくさん知ることができて良かったです。
- 私たちの質問にもきちんと答えてくださって、中学生はすごいなあと思いました。私もあんな中学生になりたいです。

新春書き初め会

全校生徒が一堂に会し、書き初め会を実施しました。1年生はみんなの個性が重なり合って美しく響き合えるよう「和音」を、2年生は甕島の四季・自然を感じてほしいと「豊かな自然」を、3年生は島立ちに備え大きな希望をもって成長して欲しいと「希望に輝く春」を演題としました。生徒は静かな雰囲気の中、演題の思いを心に留め、お手本を見ながら何度も練習し、清書しました。作品は、各学年の教室前に掲示しています。御来校の際にはぜひ御覧になってください。



普通救命講習

下甕分駐所隊員を講師としてお招きし、「的確な判断のもと、人命救助が適切にできる」ことを目的に、2年生が救命講習を学習しました。隊員の説明や映像視聴後、実際に人体モデルを使って心肺蘇生やAEDの実習等を行いました。生徒は自分の処置次第で、命が救えるかどうか決まるため、顔つきは真剣そのものでした。



鹿児島学習定着度調査に向けて

本校の学校経営方針の第一に挙げているのが「生徒一人一人に確実な学力の定着を図る」です。その目標は1月に実施される「県学習定着度調査」で前年度個人結果+1以上です。そのため1時間の授業内での復習時間の設定や1単元内での復習時間の設定を行っています。加えて、本年度は学力向上タイムと称し、生徒各自が教科選択する復習の時間を月1時間程度設定しました。県学習定着度調査が近づき、学力向上タイムの取組として12月は平成26年度、1月は平成27年度の県学習定着度調査の活用を行いました。



県定着度調査当日は生徒全員集中し、時間いっぱい問題を解いていました。今後、調査結果を分析し、不十分な分野の復習をするともに、指導法の改善を行って参ります。この調査結果については、PTAでお知らせいたします。

※ 「鹿児島学習定着度調査」：鹿児島県内一斉に行われ、1・2年を対象に国語・社会・数学・理科・英語の5教科において、これまでの学習内容がどの程度定着しているかを把握する調査です。

小中一貫教育の取組

13日(金)に鹿島小・長浜小の5年生を対象に池端教諭による音楽の授業交流を行いました。児童は始め緊張した面持ちでしたが、自己紹介していくうちに和やかな雰囲気になりました。



児童は池端教諭の身振り手振りのアドバイスに大きくうなずきながら、身体全身を使って元気な声で歌を歌ったり、リコーダーの2部演奏したりしました。池端教諭は「小学生と楽しい音楽の時間を創ることができました」と感想を述べていました。

お茶うがい開始

3学期に入り、風邪予防のためにお茶うがいを実施しています。生徒が利用しやすいように、毎朝養護教諭が2階の手洗い場横にお茶を準備しています。休み時間になるとガラガラと楽しそうにうがいをしている姿があります。

<お知らせ>

2月28日(火)に立志式講演会(11:40~12:30)を実施します。講師にDr.コトー診療所のモデルとなった手打診療所の瀬戸上健二郎先生をお招きして行いますので、この機会に講話をお聞きになってはいかがでしょうか。